

平成 29 年度青森市子ども会議臨時会議 (青森市子ども会議 in 子どもの祭典) 開催概要

- 1 日時 平成 29 年 7 月 2 日 (日) 9 時 00 分～14 時 00 分
- 2 場所 青森市浪岡総合公園
- 3 出席者 子ども会議委員 15 名 (欠席者 8 名)
子どもサポーター 0 名 (欠席者 7 名)
事務局 6 名
- 4 活動内容 ・「子どもの祭典」での子どもの権利等に関する出張普及啓発活動
- 5 開催概要

今回の子ども会議は、昨年度から実施している子ども会議委員による「子どもの権利に関する出張普及啓発活動」として、浪岡地区で毎年開催されているイベント「子どもの祭典」に参加してきました。

前日までの台風の影響で中止が心配されましたが、当日は見事に晴天に恵まれ、イベントは無事開催されました。

午前 9 時前、会場の浪岡総合公園に到着した委員たちは、早速、ブース設営に取りかかりました。

今年は、子ども会議オリジナルの「わなげ」と「スタンプラリー」の出し物をすることにしていた子ども会議委員。2つの班に分かれ、ポスターや横断幕を取り付けたり、紙の花などを使ってブースの装飾をしました。事前の想定より準備に時間がかかってしまったものの、なんとか作業を終え、いよいよ本番を迎えました。



子ども会議版「わなげ」では、一人 3 投で、輪がポールに入った数に応じて、ポケットティッシュやボールペンなどの子ども会議関連グッズもらえます。また、子ども会議や子どもの権利に関するクイズに正解することで、投げられる輪を 2 つ増やすことができます。委員の提案で、小学生以下の子どもはより近くから投げられるようにしました。

最初は来場者に楽しんでもらえるか不安だった子ども会議委員でしたが、結果的には行列ができるほどの人気で、特に幼児から小学校低学年くらいの子どもたちがお母さんお父さんと一緒に楽しんでくれました。



もう一方の「スタンプラリー」は、会場内の4箇所に、子ども会議考案キャラクターの「けんりはかせ」スタンプとクイズを設置し、配付した解答用紙の正解だと思う方にスタンプを押してきてもらいます。そして、全問正解した人には、景品として「けんりはかせ」パズルキーホルダーを差し上げました（不正解でも、もう一度正解を押して来てくれればプレゼントしました。）。こちらは、小学校高学年から中学生くらいの子どもたちに好評で、子どもの保護者の方々もたくさん参加してくれました。



「けんりはかせ」スタンプ

会場には子ども会議ブースの他にも巨大迷路や大型遊具、ストラックアウトなど様々なアトラクションがあり、多くの家族連れや子どもたちで賑わっていました。子ども会議委員も交代でアトラクションを楽しんでいました。

ゲームの景品もそろそろ底をつきそうになってきたころ、イベント終了時間の14時になり、今回の「子どもの祭典」での出張普及啓発活動は終了しました。子ども会議委員の皆さん、本当にお疲れ様でした。